

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [労働安全衛生](#) | [安全衛生「二つの決意」と「三つのキーワード」](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)

安全衛生「二つの決意」と「三つのキーワード」

◆ 二つの決意

1. 妥協しない

- 自分自身に
- 仲間の行動に
- 環境に（設備・機工具・作業マニュアルなど）

2. 安全第一

- 経営方針（安全は儲かる）
- 幸福創り
- 安全衛生文化・風土の形成

◆ 三つのキーワード

1. 実践哲学

- 知行合一（安全衛生で言う実践の意味）
- 人間尊重（安全衛生で言う哲学の意味）
- 職場活性化（相互作用・コミュニケーション）

2. 相互補完

- 束ねの知恵
- 友愛の実践
- 自助・共助・公助の進展

3. 勇 気

- 有言実行（建前と本音の乖離なし）
- 本 気（成し遂げる原点）
- 無 私（公に通じる）

一言：「一時的な作業中断が生産性を落とす」と言うことに対し、ならば「災害が発生する」。重大災害が「生産性を落とすどころか企業の命運となる」。損害は甚大、生産性の低下どころではない。よく言われるのは、「それならば災害を起こして見たら良い」と。

安全第一について

1906年、米国の鉄鋼会社、U S スチール社の「ゲーリー会長」が経営方針として掲げたもの。それまでの経営方針は「生産第一・品質第二・安全第三」であったものを、「安全第一・品質第二・生産第三」として、安全が何よりも先であるとして、トップ自ら率先垂範した。

この経営方針の実践により、災害の飛躍的減少、生産性は逆に向上するという実績を立て、「安全は儲かる」という「経営と安全の一体化」を実証した。

日本には、この安全第一の経営方針が「安全専一」として伝えられ、安全衛生活動に用いられた関係から、「安全標語・安全スローガン」的な意味合いで広まっている。

[▶ キーワード検索はこちら](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**